

市史料館企画展「般若寺の寺宝展」

期間 4月6日(火)～5月30日(日)
時間 午前9時～午後4時
会場 市史料館1階展示室(一部区画のみ)
休館日 月曜日・祝日の翌日

問い合わせ 社会教育課 長谷川倫和
☎(53)2625

市史料館では、4月6日(火)から5月30日(日)まで、企画展「般若寺の寺宝展」を開催します。

般若寺(大沢区)は、曹洞宗の寺院で、今から552年前の文明元(1469)年に開かれた由緒ある古刹です。開山は、西萩間の大興寺四世・大梁慶弘和尚の弟子である珠岩玄珍和尚と伝えられています。

本展示では、陣太鼓や相

令和3年度
市史料館
企画展

般若寺の寺宝展

初公開 静岡県指定文化財「紙本墨書大般若経」

良城の杉戸など、般若寺の長い歴史の中で守られてきた数々の寺宝を公開します。

また、通常非公開の「紙本墨書大般若経」(県指定文化財)全65巻のうち、2巻を特別公開します。

企画展の入場料は大人220円・小人110円で、市内小中高生は無料です。

なお、前企画展で配付した「相良城御城印」による入館はできません。ご注意ください。



[左] 陣太鼓(市指定文化財)
「背負ったか相良の陣太鼓」で知られる、田沼家秘蔵の太鼓。明和4(1767)年の作。
[右] 木造不動明王立像(江戸時代)



相良城の杉戸「虎図」(市指定文化財)
田沼意次侯の居城・相良城の本丸御殿を彩っていた襖絵と伝えられている。



紙本墨書大般若経(県指定文化財)
平安時代の末期に書写された大般若経。この時代に書写された経典が現存することは非常に珍しく、市内では唯一、県内でも最古級の大変貴重な文化財である。最も古い巻は、治暦2(1066)年の年号がある。もともとは、般若寺が別当をつとめた若一王子神社(大沢区)のご神体だったと伝えられる。



市内の農業者が農林水産大臣賞受賞

市内の農業者が、それぞれの分野で農林水産大臣賞を受賞されましたので、その概要をお知らせします。

問い合わせ 農林水産課 浅井大典 ☎③2618

「優良ふるさと食品中央コンクール 国産畜水産品利用部門」 農林水産大臣賞

令和2年度「優良ふるさと食品中央コンクール」の国産畜水産品利用部門で、河村養蜂場(河村充代表、波津区)が「農林水産大臣賞」を受賞しました。

これは、全国各地で生産されている地域色豊かな「ふるさと食品」の中で、製造・加工に関する新技術などによる品質向上および地域で生産される農林水産物の加工利用の面で、特に優れた成果を挙げた食品を表彰するものです。

河村さんは、父親が趣味で行っていた蜜蜂の飼育に興味を持ち、一念発起して脱サラ。平成29年度に養蜂農家として新規就農し、現在4年目です。産地を限定した蜂蜜がほとんどない中で、牧之原市産100%、6～8月の月ごとに全く味が違う3種の蜂蜜を「牧之原市発ブランドはちみつHoneyboy」としてブランド化し、高く評価されました。

河村さんは「受賞を励みに、農業を始めたときからの目標である『Honeyboyを牧之原市を代表する農産物にする』に向かってまい進したい」と話しました。



表彰状を持つ河村さん



Honeyboy

「全国優良経営体表彰 担い手づくり部門」 農林水産大臣賞

令和2年度「全国優良経営体表彰」の担い手づくり部門で、株式会社おやさい(杉山孔将代表取締役、川崎区)が「農林水産大臣賞」を受賞しました。

これは、意欲と能力のある農業者の一層の経営発展を図るため、農業経営の改善や次世代の担い手育成などに優れた功績を挙げた農業者を表彰するコンクールです。

株式会社おやさいは、青ネギを10ヘクタール生産する傍ら、グループ企業として農業コンサルティング・資材・肥料・カット野菜工場の運営など、さまざまな事業を展開。担い手育成に関しては、新規就農希望者に対する充実した研修カリキュラムを用意し、県の新規就農支援対策事業の受け入れ法人の指定を受けています。これまで独立就農者を11人輩出し、農地のあっせん・販路提供など、新規就農支援メニューが幅広く実践されていることが評価されました。

代表の杉山さんは「今までの取り組みが評価されて非常にうれしい。受賞を励みに、引き続き取り組みたい」と話しました。



株式会社おやさいの皆さん



表彰状